



平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月15日

上場取引所 福

上場会社名 Q-タイセイ

コード番号 3359 URL <http://www.taisei-wellnet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 成一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 江藤 衆児

TEL 0972-85-0117

四半期報告書提出予定日 平成24年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	1,905	49.4	113	844.1	149	431.9	98	—
23年9月期第2四半期	1,275	—	12	—	28	—	3	—

(注) 包括利益 24年9月期第2四半期 98百万円 (—%) 23年9月期第2四半期 3百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年9月期第2四半期	6,791.43	6,613.52
23年9月期第2四半期	212.25	209.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年9月期第2四半期	2,255	799	35.3	54,648.77
23年9月期	2,200	706	32.0	48,357.34

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 796百万円 23年9月期 704百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年9月期	—	0.00	—	500.00	500.00
24年9月期	—	0.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	500.00	500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	3,569	38.8	81	150.7	110	58.4	62	188.5	4,288.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期2Q	14,763 株	23年9月期	14,763 株
② 期末自己株式数	24年9月期2Q	191 株	23年9月期	191 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期2Q	14,572 株	23年9月期2Q	14,572 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づくレビューの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見積りであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数値と異なる場合がありますので、この数値に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えてください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	2
4. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然として厳しい状況にある中で、緩やかに持ち直していますが、企業収益は減少していますが、設備投資は持ち直しの動きが見られ、業況判断は、大企業製造業で下げ止まっており全体としては小幅改善となっています。個人消費については、消費者マインドは、このところ持ち直していますが、横ばい状況であり、総じて底堅い状況で推移しています。先行きについては、景気の持ち直し傾向が確かなものとなることが期待されますが、海外経済の債務危機や原油高の影響を背景とした下振れによって我が国の景気が下押しされるリスクが存在し、デフレの影響に加え電力供給の制約により景気の悪化懸念が依然として残っていることに留意する必要があります。

当社グループにおきましては、お菓子里まつわるイベントとしてバレンタインのある時期であり、これまでの事業者の取引に加え、個人客の利用をさらに大きく伸ばすことができ、2月の顧客登録件数が昨年同月の3,074件に対して5,410件と76.0%増加し、売上高についても前年同期比27.6%増加いたしました。また、子会社ブティパについては、全国展開の百円ショップに商社を通じて「デコレーとペン」や「アラザン」の納入が完了し、バレンタインにオリジナルなデコレーションを作る為のツールとして好調な売れ行きとなった模様です。さらに、当社では3年ぶりに712ページ約15,000アイテムの商品を掲載した総合カタログを2月に発刊しました。この総合カタログによりお客様が気がついていなかった商品についても認知され、商品の動きが全体的に良くなっております。このような状況から、総じて当社グループの業績は好調に推移したと考えます。

以上の結果、売上高1,905,214千円（前年同四半期比49.4%増）、営業利益113,417千円（同84.1%増）、経常利益149,246千円（同43.9%増）四半期純利益98,964千円（同3,099.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産残高は、1,205,704千円（前連結会計年度末1,152,922千円）となりました。その主な内訳は、現金及び預金502,642千円（同458,636千円）、受取手形及び売掛金113,889千円（同90,074千円）およびたな卸資産366,892千円（同390,036千円）であります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産残高は、1,050,194千円（同1,047,390千円）であり、その主な内訳は、建物及び構築物505,872千円（同523,690千円）、土地276,788千円（同248,005千円）、リース資産90,950千円（同90,371千円）であります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債残高は、620,418千円（同581,004千円）であり、その主な内訳は、支払手形及び買掛金183,150千円（同160,495千円）、1年内償還予定の社債100,000千円（同100,000千円）、短期借入金80,000千円（同107,830千円）であります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債残高は、835,808千円（同912,742千円）であり、その主な内訳は、社債400,000千円（同400,000千円）、長期借入金343,315千円（同363,437千円）であります。

(株主資本)

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は、799,672千円（同706,566千円）であり、その主な内訳は、資本金281,875千円（同281,875千円）、資本剰余金241,234千円（同241,234千円）、利益剰余金280,088千円（同188,410千円）であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末より44,006千円増加し、325,642千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

売上債権の増加70,247千円、未収入金の増加15,614千円、法人税等の支払額29,355千円などによる資金の減少に対し、税金等調整前四半期純利益の147,532千円に加え、減価償却費42,962千円の計上、たな卸資産の減少23,143千円、仕入債務の増加22,655千円などによる資金の増加により、営業活動により増加した資金は160,595千円（前年同四半期比325.6%増）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出33,902千円などによる資金の減少に対し、有価証券の償還による収入50,000千円に

よる資金の増加により、投資活動により増加した資金は3,551千円（前年同四半期は124,963千円の使用）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

短期借入金の返済による支出285,030千円、社債の償還による支出55,000千円、長期借入金の返済による支出20,790千円などによる資金の減少に対し、短期借入れによる収入257,200千円の資金の増加により、財務活動により使用した資金は120,140千円（前年同四半期は125,066千円の獲得）となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月14日に発表いたしました通期業績予想についての変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

（4）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	458,636	502,642
受取手形及び売掛金	90,074	113,889
有価証券	50,000	—
たな卸資産	390,036	366,892
未収入金	130,064	197,884
その他	35,494	25,603
貸倒引当金	△1,384	△1,210
流動資産合計	1,152,922	1,205,704
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	523,690	505,872
土地	248,005	276,788
リース資産(純額)	90,371	90,950
その他(純額)	43,012	38,970
有形固定資産合計	905,079	912,582
無形固定資産		
のれん	59,565	55,564
その他	58,302	53,174
無形固定資産合計	117,868	108,739
投資その他の資産	24,442	28,872
固定資産合計	1,047,390	1,050,194
資産合計	2,200,313	2,255,898
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	160,495	183,150
短期借入金	107,830	80,000
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	41,580	40,911
未払法人税等	30,546	54,336
ポイント引当金	18,281	24,494
賞与引当金	11,862	12,385
その他	110,408	125,139
流動負債合計	581,004	620,418
固定負債		
社債	400,000	400,000
新株予約権付社債	55,000	—
長期借入金	363,437	343,315
その他	94,305	92,492
固定負債合計	912,742	835,808
負債合計	1,493,747	1,456,226

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	281,875	281,875
資本剰余金	241,234	241,234
利益剰余金	188,410	280,088
自己株式	△6,857	△6,857
株主資本合計	704,663	796,341
新株予約権	1,902	3,330
純資産合計	706,566	799,672
負債純資産合計	2,200,313	2,255,898

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	1,275,051	1,905,214
売上原価	851,987	1,265,705
売上総利益	423,063	639,509
販売費及び一般管理費	411,050	526,091
営業利益	12,013	113,417
営業外収益		
受取利息	765	393
補助金収入	—	18,335
協賛金収入	22,018	26,081
その他	863	1,338
営業外収益合計	23,646	46,149
営業外費用		
支払利息	6,870	9,555
その他	728	765
営業外費用合計	7,598	10,320
経常利益	28,061	149,246
特別利益		
補助金収入	—	5,774
特別利益合計	—	5,774
特別損失		
固定資産除却損	—	945
固定資産圧縮損	—	5,440
訴訟関連損失	1,000	1,102
特別損失合計	1,000	7,488
税金等調整前四半期純利益	27,061	147,532
法人税、住民税及び事業税	22,836	52,865
法人税等調整額	1,131	△4,297
法人税等合計	23,968	48,567
少数株主損益調整前四半期純利益	3,092	98,964
四半期純利益	3,092	98,964

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,092	98,964
四半期包括利益	3,092	98,964
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,092	98,964
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	27,061	147,532
減価償却費	29,508	42,962
のれん償却額	3,000	4,001
株式報酬費用	475	1,427
賞与引当金の増減額(△は減少)	△185	523
貸倒引当金の増減額(△は減少)	100	△174
ポイント引当金の増減額(△は減少)	2,304	6,212
受取利息及び受取配当金	△765	△393
支払利息	6,870	9,555
補助金収入	—	△5,774
固定資産除却損	—	945
固定資産圧縮損	—	5,440
売上債権の増減額(△は増加)	△46,907	△70,247
未収入金の増減額(△は増加)	△12,600	△15,614
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,468	23,143
仕入債務の増減額(△は減少)	53,478	22,655
その他	△3,672	27,151
小計	63,136	199,347
利息及び配当金の受取額	572	564
利息の支払額	△7,296	△9,961
法人税等の支払額	△18,680	△29,355
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,732	160,595
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△50,000	—
有価証券の償還による収入	50,000	50,000
有形固定資産の取得による支出	△107,168	△33,902
無形固定資産の取得による支出	△11,381	△7,780
投資有価証券の取得による支出	△2,000	—
その他	△4,413	△4,766
投資活動によるキャッシュ・フロー	△124,963	3,551

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50,000	257,200
短期借入金の返済による支出	—	△285,030
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△14,613	△20,790
社債の償還による支出	—	△55,000
配当金の支払額	△6,755	△7,181
リース債務の返済による支出	—	△9,338
その他	△3,564	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	125,066	△120,140
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	37,835	44,006
現金及び現金同等物の期首残高	250,417	281,636
現金及び現金同等物の四半期末残高	288,253	325,642

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年3月31日)

当社グループは、菓子・弁当関連の包装資材及び食材等の販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年3月31日)

当社グループは、菓子・弁当関連の包装資材及び食材等の販売事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

(借入金実行の件)

連結子会社㈱プティパは、平成24年3月23日開催の取締役会決議に基づき、平成24年4月12日に以下の借入を実行いたしました。

- | | |
|-------------------|--|
| (1) 資金の用途 | 宮崎工場の駐車場用地取得資金 |
| (2) 借入金融機関 | ㈱日本政策金融公庫 |
| (3) 借入金額 | 30,000千円 |
| (4) 元金の返済方法 | 1ヶ月据え置き後、毎月元金均等(179千円)を返済する。但し、最終月は286千円を返済する。 |
| (5) 利息 | 年1.35%(借入金実行日以後、2年間について0.5%の利率の控除適用あり) |
| (6) 借入実行日 | 平成24年4月12日 |
| (7) 最終弁済期限 | 平成38年3月20日 |
| (8) 担保提供資産の種類及び簿価 | 土地 30,436千円 |